

令和4年度麦田地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域住民の中で「ケアプラザ＝高齢者を対象とした施設」というイメージは定着しているが、幅広い対象者の相談を受け止める施設としては十分に認識されていない。地域においては、高齢者のみならず、より多くの住民に向けてケアプラザの機能を周知する必要がある。

・地区社協、連合等による話し合いが活発になっており、事業の見直しや新たな取り組みの検討が進みつつある。話し合いの機会を増やしながら、運営支援を引き続き行っていく必要がある。

・より多くの住民に各団体の活動目的や事業を周知していくために、ケアプラザ内の連携を強化し、地域の動きを把握し、地域支援チーム内や他機関と情報共有、連携を図っていく。

・多くの課題を抱える世帯が増え、サービスだけで解決できない相談が増加している。地域住民の健康的な在宅生活を支えるために、診療所や薬局、医療相談室など地域の医療機関との関係作りを進める。また、昨年度より参加している障害三機関会議の引き続き参加を続け、連携強化に努める。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合定例会や民生委員定例会等において広報紙「おおむぎこむぎ」やその他事業に関するチラシ等の回欄を依頼し、ケアプラザの事業内容周知を図る。</li> <li>・SNSなどを活用し多世代に情報が届くよう工夫する</li> <li>・役員会や祭礼行事等、高齢者以外が集う場所にも積極的に出向き顔の見える関係づくりに努める。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の数値的データを分析し特性をつかむだけでなく、地域へ出向いた際には住民に生活状況のヒアリングを行いニーズをつかむ。個別ケースにおいても、フォーマルサービスだけでなくインフォーマルな資源も活用した支援ができるよう5職種で密な状況共有や支援方針の統一を図る。</li> <li>・地域課題解決に向けた取り組みを地区が一体となって行えるよう、地区社協等と協力し研修・講座を実施する。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア内、及び近隣の医療機関（開業医、歯科医、薬局など）を訪問しケアプラザのパンフレットや包括職員の写真入りカード、広報紙を配布する。</li> <li>・障害関係機関の会議に参加し、顔の見える関係をつくる。</li> <li>・障害の作業所や事業所へ訪問しケアプラザのパンフレットを配布する。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域住民へのケアプラザの周知を図るため、LINE、フェイスブック等のSNSの活用や、広報紙や包括カード等の紙媒体を活用しながら、ケアプラザについての周知を図ることが出来た。

第三地区内で行われている地域活動に、積極的に顔を出し、関係作りに努めた。また、地域で得た情報を地域支援チームに還元し、細かに報告することによって、チームとしての方向性を示すことが出来たのではないかと感じる。その結果、地区別計画研修（ワークショップ）を通し、支援チームと地域とが一体となって企画、開催をすることができた。ワークショップをしたことでの課題感に向けて、他地区の事例の勉強会も地区社協と共に企画開催することができ、地区社協への関りを深めることができた。

地域との顔の見える関係作りの他、地域内でのネットワークづくりも取り掛かることができた。地区社協や民生とボランティアや地域活動団体とが話し合う場を設けて、地域課題解決に向けて動き出すきっかけづくりを作れた。

また、包括支援センターにおいては、介護予防講座や後見関連の講座を開催した他、ケアマネージャーへのインフォーマルサービスの情報提供やケース共有を行うことができた。

地域活動に参加した際に住民から得た情報を5職種間で共有し、必要に応じて、コーディネーターと包括職員が協力して訪問等を行い、それぞれの職種から出来ることを考え取組む等連携することができた。引き続き、介護保険だけでなく、地域で行われている活動や、ケアプラザ内の自主事業等も紹介しながら、相談者に応じた対応が出来るように心がけていく。

区からのコメント

紙媒体に加え、SNSも活用し、多世代を対象にした情報発信に務めています。

障害関係機関や医療機関との連携、地域ケアプラザでのコンサートの開催など、つながりを活用した取組が行われています。

また、地域の会合への参加と職種間の情報共有により、地域活動の再開の動きに気づき、ワークショップや勉強会の開催の支援に繋がっています。

今後も地域の課題の把握や担い手の発掘・育成の取組を続けてください。

# 令和4年度麦田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	アセスメントの結果サービスの利用が好ましいと判断された場合「事業所の比較検討に関する利用者説明ガイドライン」に基づいて、事業所の選択を行う等していきます。	法人全体における事故報告を集計分析するとともに、会議等で職員間での共有をしていきます。その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てます。また、ヒヤリハット事例の抽出・共有を行い、事故や事故までには至らない潜在リスクの情報についても職員全体で共有・分析し、事故防止につなげます。ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、必要時以外の持ち出しの禁止といった自己管理の徹底と事業所内ルールを職員に定期的に周知します。
実績	相談者に公正・中立を維持し、意向に沿った選択をしていただけるよう事業所の情報収集及びホームページ等を用いて偏りのない提供に努めました。	朝・夕礼時にヒヤリハット事例・法人内の事例を共有し事故防止に努めました。 個人情報の管理に関しては毎日注意喚起を実施しています。 職員全体で個人情報取扱い研修・コンプライアンス研修の実施しました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	心身機能の改善だけでなく、一人一人の強みや希望を理解し、その人らしさや生きがい、役割のある暮らしをイメージしたプランニングを行います。	地域で安心した暮らしが送れるように他機関と連携しながら本人と家族の支援を行います。 担当ケースの目標プラン数は月平均104件を目標とします。
利用料金・実費負担		
職員体制	管理者 1名(兼務) ・主任ケアマネジャー 1名 ・保健師 1名 ・社会福祉士 1名 ・プランナー 1名(非常勤)	管理者 1名(常勤) 介護支援専門員3名 (兼務1名含む常勤1名、非常勤2名)
契約者数	直営: 48件 委託: 90件	要介護 102名 要支援委託 11名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	住み慣れた地域と自宅で継続して生活できるよう自立支援を行います。 利用者平均人数 26名/日 介護予防、第1号 利用者平均人数 18名/月		

実施体制	通所介護 【実施日数】 359日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 40名 第1号、介護予防 【実施日数】 359日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 5名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	食費 ¥ 800		
職員体制	管理者1名(常勤) 生活相談員3名(常勤) 看護師兼機能訓練指導員6名(非常勤) 介護職員12名(非常勤) 運転員5名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8384名 【契約者数】 103名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「麦田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,683,028		17,683,028	17,209,028	474,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	10,000		10,000	16,900	△ 6,900	
横浜市による運営支援	0		0	816,000		物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	20,000	0	20,000	36,528	△ 16,528	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	20,000		20,000	36,008	△ 16,008	
その他			0	520	△ 520	公衆電話料金
その他			0		0	
収入合計	17,713,028	0	17,713,028	18,078,456	△ 365,428	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,401,028	0	8,401,028	7,969,763	431,265	
本俸	6,583,028		6,583,028	5,911,525	671,503	
社会保険料	820,000		820,000	635,459	184,541	
手当計	900,000		900,000	1,318,524	△ 418,524	
健康診断費	15,000		15,000	7,495	7,505	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	5,250	1,750	
退職給付引当金繰入額	75,000		75,000	90,891	△ 15,891	
その他	1,000		1,000	619	381	
事務費	1,245,960	0	1,245,960	1,400,820	△ 154,860	
旅費	18,000		18,000	534	17,466	
消耗品費	191,000		191,000	249,928	△ 58,928	
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	58,000		58,000	51,223	6,777	
通信費	100,000		100,000	213,227	△ 113,227	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	185,025	△ 164,025	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000	21,120	△ 120	
その他	0		0	163,905	△ 163,905	
備品購入費	125,000		125,000	0	125,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	11,238	△ 1,238	
職員等研修費	0		0	136	△ 136	
振込手数料	0		0	27,650	△ 27,650	
リース料	125,000		125,000	67,595	57,405	
手数料	1,400		1,400	0	1,400	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	591,560		591,560	594,264	△ 2,704	
事業費	306,000	0	306,000	86,436	219,564	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,600	29,400	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	73,836	190,164	
その他			0	0	0	
管理費	6,381,000	0	6,381,000	8,107,659	△ 1,726,659	
光熱水費	4,000,000		4,000,000	5,766,519	△ 1,766,519	
清掃費	1,000,000		1,000,000	1,046,325	△ 46,325	
機械警備費	200,000		200,000	198,550	1,450	
設備保全費	881,000	0	881,000	908,773	△ 27,773	
空調衛生設備保守	400,000		400,000	413,450	△ 13,450	
消防設備保守	20,000		20,000	21,705	△ 1,705	
電気設備保守	60,000		60,000	72,996	△ 12,996	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	23,279	2,721	
駐車場設備保全費	15,000		15,000	14,600	400	
その他保全費	360,000		360,000	362,743	△ 2,743	設備総合巡視点検・自動ドア保守・エレベーター保守管理
共益費	0		0		0	
その他	300,000		300,000	187,492	112,508	植栽管理業務・ごみゼロルート回収
修繕費	474,000		474,000	1,915,931	△ 1,441,931	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	908,677	△ 3,637	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040	908,677	△ 3,637	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,713,028	0	17,713,028	20,389,286	△ 2,676,258	
差引	0	0	0	△ 2,310,830	2,310,830	

自主事業費 収入	10,000	0	10,000	16,900	△ 6,900	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	73,836	190,164	
自主事業 収支	△ 254,000	0	△ 254,000	△ 56,936	△ 197,064	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	36,008	△ 16,008	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 1,000	0	△ 1,000	14,888	△ 15,888	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度「麦田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,271,000		24,271,000	24,271,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	30,227,000	0	30,227,000	30,227,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,919,000	0	26,919,000	27,616,409	△ 697,409	
本俸	13,571,000		13,571,000	13,480,350	90,650	
社会保険料	3,700,000		3,700,000	3,562,020	137,980	
手当計	8,306,000		8,306,000	9,182,572	△ 876,572	
健康診断費	32,000		32,000	26,727	5,273	
勤労者福祉共済掛金	27,000		27,000	26,250	750	
退職給付引当金繰入額	1,280,000		1,280,000	1,336,084	△ 56,084	
その他	3,000		3,000	2,406	594	
事務費	681,000	0	681,000	741,011	△ 60,011	
旅費	1,000		1,000	20,046	△ 19,046	
消耗品費	110,000		110,000	107,221	2,779	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	2,000		2,000	1,756	244	
通信費	40,000		40,000	189,088	△ 149,088	
使用料及び賃借料	0	0	0	97,833	△ 97,833	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	97,833	△ 97,833	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	0	10,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,987	13	
職員等研修費	0		0	8,000	△ 8,000	
振込手数料	35,000		35,000	8,725	26,275	
リース料	0		0	54,538	△ 54,538	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	480,000		480,000	250,817	229,183	
事業費	881,000	0	881,000	414,021	466,979	
協力医	630,000		630,000	231,000	399,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	0	50,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	151,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000	32,021	17,979	
その他			0		0	
管理費	1,620,000	0	1,620,000	2,106,153	△ 486,153	
光熱水費	1,060,000		1,060,000	1,532,872	△ 472,872	
清掃費	270,000		270,000	278,137	△ 8,137	
機械警備費	53,000		53,000	52,778	222	
設備保全費	237,000	0	237,000	242,366	△ 5,366	
空調衛生設備保守	110,000		110,000	109,904	96	
消防設備保守	5,000		5,000	5,769	△ 769	
電気設備保守	16,000		16,000	19,404	△ 3,404	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,985	15	
駐車場設備保全費	4,000		4,000	3,880	120	
その他保全費	95,000		95,000	96,424	△ 1,424	設備総合巡視点検・自動ドア保守・エレベーター保守管理
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000	509,294	△ 383,294	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	30,227,000	0	30,227,000	31,386,888	△ 1,159,888	
差引	0	0	0	△ 1,159,888	1,159,888	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	251,000	0	251,000	183,021	67,979	
自主事業 収支	△ 251,000	0	△ 251,000	△ 183,021	△ 67,979	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	97,833	△ 97,833	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 97,833	97,833	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 麦田地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援/第1号介護予防支援			居宅介護支援			通所介護/第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,098	7,329	-231	15,358	14,111	1,247	74,896	86,528	-11,632
	その他	0	0	0	339	540	-201	7,632	8,287	-655
	事業・負担金収入			0			0	7,632	8,273	-641
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0	339	540	-201		14	-14
	<b>収入合計(A)</b>	7,098	7,329	-231	15,697	14,651	1,046	82,528	94,815	-12,287
支出	人件費	2,668	2,416	252	11,112	9,888	1,224	55,087	54,703	384
	事務費	10	20	-10	54	26	28	345	332	13
	事業費	3,719	4,728	-1,009	690	636	54	25,394	28,917	-3,523
	管理費			0			0			0
	その他			0	140	102	38	2,741	1,890	851
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0
				0			0			0
	その他			0	140	102	38	2,741	1,890	851
	<b>支出合計(B)</b>	6,397	7,164	-767	11,996	10,652	1,344	83,567	85,842	-2,275
	<b>収支 (A) - (B)</b>	701	165	536	3,701	3,999	-298	-1,039	8,973	-10,012

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症高齢者ミニデイ「月曜喫茶室」	平成17年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・認知症の高齢者の在宅生活を地域で支える仕組みづくりの一環として実施。 ・認知症の進行を遅らせ、地域の中で元気に生活できるよう支援する。 ・家族の負担軽減を図る。 ・地域への認知症についての啓発	1:高齢者	5:地域	ボランティアが中心となって実施する、軽度認知症の高齢者を対象としたミニデイサービス。 毎月第2、第4月曜日13:30～15:00	24	318
2	高齢者向けサロン「麦麦ハッピーくらぶ」	平成28年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・趣味や話の合う仲間づくり、閉じこもり予防、リフレッシュなど ・高齢者のニーズ把握の機会	1:高齢者	5:地域	地域の高齢者を対象とした趣味と憩いと交流のサロン事業。 毎月第3木曜日13:00-14:30	12	184
3	子育てサポート「読み聞かせ会」	平成19年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・親(養育者)同士の交流や情報交換、リフレッシュの場の提供 ・子どもにとって集団活動の体験 ・親や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり ・住民主体で実施する地域活動のバックアップ	3:養育者及び乳幼児	5:地域	子育て中の親子で集える場の提供。絵本の読み聞かせや手遊びによる情操教育。 毎月第1水曜日10:30～11:30	10	48
4	子育てサロン「むぎた子育てサロン」	平成16年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・親(養育者)同士の交流や情報交換、リフレッシュの場の提供 ・子どもにとって集団活動の体験 ・親や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり	3:養育者及び乳幼児	5:地域	子育て中の親子で集えるフリースペースサロン。 毎月第4水曜日10:00～12:00	61	77
5	障がい者の余暇のサークル「CLUB Q」	平成18年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・就労している知的、身体障がいのある人同士の仲間づくり・社会性修得の場・余暇の充実 ・職場や家庭以外の安心して集える居場所づくり ・就労している知的、身体障がいのある人や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり	2:障害児・者	5:地域	一般就労や作業所に通う知的障がいのある若い世代のサークル活動(予算・収支管理は「ぼ〜と」) 毎月第4金曜日18:00～20:00 年に数回外出や別日に実施あり。	12	113
6	施設利用団体交流会	平成31年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・新たな活動の場となるきっかけづくり。 ・登録団体Ⅱには福祉保健活動の具体的な活動内容や活動の場を紹介。 ・各団体同士の交流を深め、団体同士の顔の見える関係づくりをする。 ・施設利用団体へケアプラザの役割、地域活動の意義、施設利用のルールを再確認し、順守を促す。	5:地域		・ケアプラザの説明、施設利用ルールの確認 ・各団体の紹介 ・グループに分かれて茶話会 年1回実施	2	40
7	体験学習・体験ボランティアの受入れ		1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・子どもたちの福祉学習・教育の場の提供 ・学校との連携 ・ボランティア希望者の受入	5:地域	7:その他	通所介護(デイサービス)や地域交流事業での体験学習受入れ。 都度	1	2
8	障害者支援事業(山手オーブントアウン)	平成31年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民が障害の特徴を理解し、障害者と共にお互いを支え合って生活できるよう支援するためのネットワークづくり	2:障害児・者	5:地域	大和町商店街周辺を中心に多様な背景の人が集まり、年に数回障がい理解のイベントを企画する。	2	80
9	くるくるマルシェ	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	野菜販売を通じた地域交流活動の促進 地域のニーズの把握 他団体との連携の強化	5:地域	1:高齢者	NPO法人スーリールファム・驛テラスの仲里さんと共催で野菜以外にも福祉作業所の物品などを販売する。 第4水曜日10:00-13:00	12	240
10	食育講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	親子向けに食育について楽しく学ぶ。	3:養育者及び乳幼児	5:地域	子育て支援拠点のんびりんこと中区ヘルスマイトと子育て世代を対象に食育講座を実施する。	1	30
11	出張講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	身近な場所で健康づくりや介護・福祉についての情報提供や、具体的方法についての指導を行い、地域住民の健康づくりに役立てて頂く。	5:地域		・地域のサロンや食事会など、住民に身近な場所で、介護保険制度、ケアプラザ、認知症、介護予防、権利擁護など、地域が知りたいことを相談しながら内容を検討し、講座を実施する。	2	52
12	家族のつどい	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	在宅で認知症の方、およびMCI(軽度認知障害)の方を介護している家族同士が介護における悩みなどを共有し、情報交換やリフレッシュできる場とする。	7:その他	5:地域	フリートークを中心に、情報交換、勉強会、など。6月、8月、10月、12月、2月開催。	5	21
13	権利擁護講座“成年後見とは？”	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	・権利擁護の普及啓発 ・元気なうちから備えること～死後の支援のことまで、トータルで学び、最期まで安心して暮らすための情報発信を行う。	1:高齢者	5:地域	士業の先生を招いての講座を開催する。	3	69
14	ケアマネサロン	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	エリアのCM向け、顔の見える関係作りや横の繋がりを目的に、6包括で共済で開催。	5:地域		フリートークの他、情報交換、勉強会、事例検討など。 6月、10月、2月 予定	9	62

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	介護予防講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者が増えることを目指す。	1:高齢者		「仲豆滝元気クラブ」(会場:仲豆滝町内会館)6月~7月 「鷺竹元気クラブ」(会場:鷺竹町内会館)9月~10月 (内容:ハマトレ・口腔ケア・栄養指導) 「麦田健康づくり教室」(会場:麦田CP)10月~12月 (内容:ストレッチ、体操・口腔ケア・栄養指導)	14	107
16	医療講演会	平成31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に身近な疾患や最新の医療情報についての知識を深めてもらい、疾病予防に役立ててもらおう。協力医、近隣の医療機関との連携を図る。	5:地域	7:その他	協力医による医療講演会(会場:麦田CP) 9月:「救急医療について」 12月:「尿にまつわること」	2	18
17	DIY講座	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	①DIYに関すること(障子の張り替えや包丁研ぎなど)をきっかけにボランティアに興味を持って頂き、地域の担い手を増やしていく。 ②男性が参加しやすいよう、興味関心がありそうな内容の講座を実施し社会参加のきっかけとする。	5:地域		・網戸の張り替え ・包丁研ぎ ・庭木剪定 等 2月~3月に実施予定。	0	0
18	タクシー会社との連携	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	利用客の大半が高齢者であるタクシー会社に対し、認知症理解講座の開催や、地域サロン等での送迎に協力依頼を通し、高齢者がより外出しやすい環境づくりを行う。	1:高齢者		タクシー会社への認知症サポーター養成講座 地域サロンで、送迎としてタクシーの活用実施時期未定。	0	0
19	麦田芸術大学	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	企業、NPOと連携することでそれぞれの特徴を生かした事業を実施し、連携を深める。 芸術を通して地域住民に新たな体験を提供する。ふらっと立ち寄れるための居場所づくりの一環とする。	4:子ども・青少年	1:高齢者	認定NPO法人あっちこちの所属アーティストによる講義、ワークショップ 7月~年度明けにかけて	6	38
20	園芸活動	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの敷地で花を育てることを通して、地域での交流を増やす。また、障がいのある人もいつの間にか地域に溶け込み、受け入れ合えるようなグループをケアプラザから誕生させるねらい。	5:地域	7:その他	水やりや花の管理を定例化させ、グループ名などをつけて活動が活発化するよう支援する。	24	100
21	スマホ教室	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	主に高齢者がスマホやPCを利用し、家族や友人とコミュニケーションを図れるようにすること。 教室で知り合った方同士が繋がりを持つこと。	1:高齢者		ボランティアや専門職によるスマホ(またはPC)の使い方講座。 依頼のあった単位町内会で上半期に実施予定。	3	30
22	ふれあいサロン	平成12年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・第3地区連合町内会エリアの高齢者の見守りや閉じこもり防止。 ・民生委員児童委員とケアプラザ職員の顔の見える関係づくり。	6:事業者	5:地域	・折り紙、ゲーム等のレクリエーション ・気功やヨガのサイズの実施 毎月第2木曜日13:00~15:00	11	288
23	民生委員・ケアマネ交流会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	民生委員・児童委員とケアマネジャーの連携協働の関係作りから、地域包括ケアの実現に向けたあらたな社会資源の創出や活性化につなげる。	5:地域	6:事業者	8月・2月に実施予定	0	0
24	ふらっとむぎた	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの敷居を下げ、誰でもが気軽に集える場所を開放する。中身は毎回違ったり、地区社協と考えたり、地域からの持ち込み企画もあり、また5職種で連携して考えていく。	5:地域	7:その他	毎月第2水曜日13時~18時、第4木曜日9時~12時	24	159
25	ハローよこはま	昭和51年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	中区民まつり「ハローよこはま」において、ケアプラザの周知を目的としてブースを設置(区内6地域ケアプラザ合同)。 他CPの他職種が一緒に事業をおこなうことで連携を深める。	5:地域	7:その他	区内6地域ケアプラザの周知のため、チラシを配布。 子どもが立ち寄りやすいようコイン落としを実施し、景品を渡す。 CPIに関するクイズを実施し、景品を渡す。 秋ごろ実施予定	1	100
26	麦田地域ケアプラザイベント	平成31年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①普段くつろぎの少ない住民へケアプラザの周知。 ②施設利用団体やボランティア活動団体に活動の場の提供。 ③多世代交流のきっかけを作る。	5:地域	7:その他		1	150
27	民生委員ミニ勉強会	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・民生委員の見守り活動に役立つ情報等の周知 ・民生委員との関係作り ・民生委員との連携強化	5:地域		・介護保険制度について ・CPIについて	0	0
28	地域活動支援事業	平成30年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	健康講座から立ち上がった地域住民主体の健康クラブの自立支援、また元気づくりSTや各老人会の活動など、すでに自立している団体の活動が活発に維持出来るよう支援を行う。ボランティア講座を行い、参加者がグループ活動を継続する意義や大切さを再確認する。地域で活動するグループ同士の交流場をつくる。	1:高齢者	5:地域	活動に定期的に参加し情報提供や相談対応を行う。また、依頼に応じて講座を行う。 ・上野町東部:毎月1回 ・西之谷:元気づくりST休止中、再開に向けた支援 ・豆口台上町:偶数月第3火曜 ・本牧緑ヶ丘:奇数月第2水曜 ・麦田町:第1.3水曜日 他老人会等 ・レインボー(元気づくりST):必要時 ボランティア講座:6月、地域で活動する介護予防グループ、新たな担い手に参加してもらい、ハマトレや情報交換を行う	37	330